

# とちぎ市議会だより

第55号(9月定例会)  
2022.11.18発行

## 皆さんの意見・要望等を議会に提出することができます

市民の皆さんは請願書・陳情書により、市議会に対して政治や行政に関する意見や要望を述べられます。市議会議員の紹介があるものは請願書、ないものは陳情書として受け付けます。

表紙	内容
○○に関する請願書（陳情書） 請願人（陳情人） 住所 栃木市○○町○番○号 氏名 栃木 太郎  外○名 紹介議員 ○○○○ 栃木市議会議長○○○○様	○○に関する請願（陳情） 1.請願（陳情）の趣旨 2.請願（陳情）の理由 令和 年 月 日 請願人（陳情人） 住所 栃木市○○町○番○号 氏名 栃木 太郎 ㊟ 栃木市議会議長○○○○様 ※自署の場合㊟は不要

- ・要旨は簡潔明瞭にまとめて下さい。
- ・請願（陳情）の要旨で場所を特定している場合は地図や略図を添えて下さい。
- ・提出年月日を記入し、議長あてとして下さい。
- ・自署でない場合は押印をして下さい。（多人数で提出する場合は、必ず代表者を決め、署名簿は本文の後に添えて下さい。）
- ・請願の場合は、1人以上の紹介議員が必要です。

### ○意見陳述について

請願・陳情の提出時に意見陳述を希望するかどうかをお伺いします。提出者が希望する場合には、議会運営委員会において実施の可否を決定し、ご連絡をいたします。

## 12月定例会の予定（変更になる場合があります）

日	月	火	水	木	金	土
11/20	21	22	23 勤労感謝の日	24 新聞折込	25 本会議 議案等提案	26
27	28	29	30	12/1	2	3
本会議 『一般質問』						
4	5	6	7	8	9	10
常任委員会 (総務) (民生) (産業教育) (建設)						
11	12	13	14 本会議 議案等採決	15	16	17

日程と一般質問の内容は、確定次第、ホームページ等でお知らせするほか、11月24日（木）に新聞折り込みを予定しています。また、一般質問の様子は、ケーブルテレビや市議会のホームページからもご覧いただけます。ぜひ、ご覧ください。



栃木市  
マスコットキャラクター  
とち介

## 未来へはばだけ

**特集**  
令和3年度決算を認定（決算審査）・2～3  
新たに発足した委員会の紹介・・・14  
議会報告会・・・16～17

一般会計補正予算（第5号）……………	4
（9月定例会で決まったこと）	
表紙写真の説明……………	5
16人の議員が市政を質す……………	6～13
（一般質問）	

**栃木市議会広報委員会**

9月定例会号では、主に令和3年度の決算認定状況を掲載しました。決算は、昨年度の本市の収入支出と、使途および事業内容を決算特別委員会に付託し、各分科会で審査を行い、本会議において認定します。決算の審査は、来年度の予算編成にもつながる重要なものです。

また、今号より新たなメンバーによる広報紙モニターインタビュー記事の掲載も始まりました。今後も多くの市民の皆さまに議会を身近に感じていただけるよう、分かりやすい紙面づくりを行ってまいります。

（青木 一男記）

委員長 天宮 浩樹  
副委員長 雨宮 茂樹  
委員 川田 孝俊  
委員 小川 隆之  
委員 市村 孝俊  
委員 小坂 孝俊  
委員 坂東 隆之  
委員 内海 敏之  
委員 青木 一男  
委員 白石 幹男

目の不自由な方のために、市内の朗読ボランティアが議会だよりの音声テープを作成しておりますので、ご入用の方はお気軽に議会事務局までお問い合わせください。〈TEL：0282-21-2505〉



# 令和3年度の各会計 決算を認定

## 決算 審査

認定第1号  
令和3年度  
一般会計決算

認定 賛成 24  
反対 3



市長は、翌年度の予算を決める3月定例会までに、前年度の決算について、議会の認定を受けなければなりません。議長と議会から選出された監査委員を除いた26人の議員が決算特別委員会の委員となって、4つの分科会に分かれて専門的に審査しました。

### 令和3年度に実施された主な事業 ※1万円未満切り捨て

#### 東京2020オリンピック・パラリンピック事業費

897万円

ハンガリー選手団の大会前キャンプ受入れを行った。



#### 子育て世帯への臨時特別給付金支給事業費

21億3744万円

高校生世代までの子どもがいる世帯に対し、臨時給付金を支給した。



#### 産前産後ヘルパー派遣事業費

119万円

多胎妊産婦や支援者がいない妊産婦等に対し、産前産後ヘルパーの派遣を行った。



#### PCR検査実施事業費

3399万円

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、PCR検査を実施した。



#### 緊急通学路安全施設整備事業費

2999万円

通学路の安全点検を行い、区画線並びに防護柵の設置工事を行った。



#### 観光交流館管理運営費

996万円

観光案内・情報の発信やイベント等を行い、交流人口の増加を図った。



#### 高規格救急自動車購入事業費

4022万円

高度な救命処置を提供し、救命率向上を図るため、車両の更新を行った。



#### (仮称)文化芸術館等整備事業費

2億8458万円

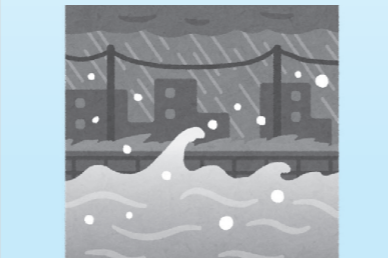
令和4年度に栃木市立美術館・文学館として開館するためのハード整備を行った。



#### 止水板設置等工事補助金

479万円

浸水被害が想定される区域の止水板設置に対し、補助金を交付した。



**主な質疑**  
(仮称)渡良瀬サイクルパーク整備事業費  
**質** オープン後の利用状況は  
**答** 5月から7月までの3カ月間の来場者数は、月平均、約900名で推移している。

**不用品売却収入**  
**質** 売却物件は

**答** 消防団の再編等により不用となった消防車両13台を、インターネット公募により売却したものである。

**市民相談事業費**  
**質** 相談件数は

**答** 市民相談が609件、弁護士相談が201件、宅地建物相談が39件、行政相談が38件、合同相談が1件である。

**保育所費**  
**質** 待機児童数は

**答** 毎年4月1日現在で国の基準に基づき待機児童を公表することになってはいるが、今年度の待機児童はいない。

ナラ枯れ被害緊急対策事業費

**質** 実施個所は

**答** 岩舟町静地内7本、藤岡町赤麻地内1本、藤岡町大前地内3本、岩舟町静の岩船山1本、平井町地内6本、岩舟町三谷地内51本、大平町西山地内26本を伐倒燻蒸した。また、吹上町地内の事業所内にある147本については、被害の駆除に対する補助金を支出している。

**就学時心臓検診充実強化事業補助金**  
**質** 補助内容は

**答** 心臓検診に対する一人当たり500円の県補助金である。

**木造住宅耐震化促進事業費**  
**質** 事業の概要は

**答** 旧耐震基準で建築された木造2階建ての一戸建て住宅などの耐震診断費用、耐震改修費用および、耐震建て替え費用等の一部を補助するものである。



討論(認定第1号)

反対(白石議員・針谷育造議員)

(白石議員) 新型コロナウイルスの収束は未だ見えない。コロナ対策では、市独自の大規模なPCR検査体制を構築すべきであった。また、サッカースタジアム建設問題では、地裁判決に従い、控訴を取り下げ、土地使用料と固定資産税を減入として計上するべきである。コロナ禍で、市民生活と営業が苦しくなる中、市民の命と暮らしを守るには不十分であったと言わざるを得ないため、本決算に反対する。

賛成(梅澤議員)

本決算は、防災・減災対策、子育て支援、事業者支援、地域活性化対策などについて、ソフト事業とハード事業の両面で、効果的に取り組み、かつ地域バランスにも配慮した施策が展開されており、高く評価したい。今後も市民福祉の向上を目指し、尽力いただくことを期待し、本決算に賛成する。



本会議の表決前に、他の議員の賛同を得るために、討論が行われた議案等の番号と発言した議員名は次のとおりです。(○=賛成 ●=反対)

- 認定第1号 ●白石 幹男 議員 ●針谷 育造 議員 ○梅澤 米満 議員
認定第2・3・4号 ●白石 幹男 議員 ○梅澤 米満 議員

議案等の審議結果

9月定例会では、議案20件、決算の認定9件が審査されました。賛否が分かれた議案等の各議員の賛否は以下のとおりです。

賛成：○ 反対：●

Table with 28 columns (議員名) and 4 rows (議案番号). Columns include 川田俊介, 小太刀孝之, 市村隆, etc. Rows include 令和3年度栃木市一般会計歳入歳出決算の認定について, etc.

※その他の議案25件は全会一致で可決されました。

9月定例会で決まったこと(主な議案等)

特集ページで取り上げたもののほか、9月定例会で審査した主な議案等についてお知らせします。各議案の詳細については、市議会ホームページの議案書をご覧ください。

一般会計補正予算(第5号) 議案第93号 令和4年度一般会計補正予算(第5号) 可決 全会一致

議案の概要

歳入歳出予算にそれぞれ7億403万円を追加し、予算総額を69.3億6565万5千円とする。主な内容は、財政調整基金積立金、子ども・妊産婦・ひとり親家庭医療費助成事業費、浄化槽設置補助事業費などを予算計上した。

主な質疑応答

質 市内のゴルフ場に設置したいと考えており、プレーで訪れた方などを対象に、その場でふるさと納税



質 物価高騰対策生活困窮者自立支援金支給事業の該当要件は現在行っている新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の再支給を受けた世帯が対象である。
質 市単独農業農村整備事業の事業内容は、

答 工事は全部で4件あり、都賀町原宿のネットフェンスの改修と吹上東部地区にある荒川の土砂の浚渫、梅沢町の表土の入れ替え、皆川城内町のため池から隣接する農地への漏水対策工事である。

質 浄化槽設置補助事業費の補正額の積算根拠は、
答 申請代行業者にアンケートを実施するとともに、過去3年間の申請実績を鑑み、合併浄化槽新設に対する補助30件と転換10件の計40件分を見込んだところである。

対象者を拡大 議案第104号 栃木市子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定 可決 全会一致

議案の概要

子ども医療費の助成対象者を拡大するに当たり、条例における子どもの定義を出生した日から15歳に達する日以後の最初の3月31日までから18歳に達する日以後の最初の3月31日の間にあるものに改める。

主な質疑応答

質 施行日を令和5年1月1日とした理由は、
答 対象者の登録、医療機関への周知等を踏まえ、最短で開始できるのが令和5年1月1日である。

対象者への周知方法は個別に通知する。

質 登録が遅れた場合の対応は、
答 医療費助成は診療月から1年間申請が可能であり、医療機関で保険診療分を支払い、領収書を担当課に提出すれば助成が受けられる。

既存住宅の認定が可能に 議案第107号 栃木市手数料条例の一部を改正する条例の制定 可決 全会一致

議案の概要

建築基準法および優良住宅の普及の促進に関する法律の一部改正に伴い、条例の一部を改正するもの。

主な質疑応答

質 改正による変更点は、
答 建築基準法の一部改正による引用条項の修正および、これまで新築または増改築を行った物件のみが対象であった長期優良住宅の認定制度について、既存住宅の認定も可能とすることが主な変更点である。

認定にかかる費用は

答 一戸建て住宅の手数料は、新築が1万7000円、新築以外の増改築および既存の住宅については、2万4000円となっている。



表紙の写真 未来へはばたけ

今回の表紙の写真は、スケートボードパーク(神田町)で練習をする子どもたちです。パークにはプロボーダーが2名所属し、全日本の大会で優勝した選手も輩出しているとのこと。市内在住の方のみでなく、近隣市町からも選手が通って日々技術を磨いています。初心者の方も利用されており、選手の育成にも力を入れています。将来、栃木市からオリンピック選手が出てくることを期待したいですね。(撮影協力：TUMUJI SKATE PARK 表紙撮影：坂東・内海委員)







古沢 ちえ子 議員  
公明党議員会

市の歴史資料のデータベース化  
を行い、さらなる魅力発信を

「知的財産基本法」に基づき、2017年に内閣府知的財産戦略推進事務局が中心となり、デジタル化の推進とデジタルアーカイブの連携に関する関係省庁等連絡会や実務者協議会などを開催する等、デジタルアーカイブに関する活用と取り組みが加速化している。

市の歴史資料についても収集保存をしているが、それらのデータベース整備を行い、未来に本市の歴史文化を継承することが、市の魅力発信になると考えるが、執行部の考えを伺う。

答弁 青木教育長

デジタルアーカイブの構築に向け、適切な手法を研究していく

デジタルアーカイブを構築するこ



今後は、教育委員会が所管しているさまざまな文化資源についても、デジタルアーカイブの構築に向け、優先順位や費用対効果等も踏まえ、適切な手法について研究していく。

●栃木市デジタルアーカイブ館設立  
○例幣使街道をつなぐまちづくり

とは、本市の歴史や文化を次世代に継承していくための有効な手段であるとともに、本市の魅力を広く発信することにもつながるものと考えている。

現在、栃木市立美術館および文学館においては、主な収蔵品や資料をデータ化し、ホームページで閲覧できるよう準備に取り組んでおり、デジタルアーカイブの構築が進みつつある。



雨宮 茂樹 議員  
公明党議員会

移動投票所の導入検討を

平成29年12月定例会で「移動投票所のさまざまな条件を考慮し、導入を検討する。」との答弁があったが、その後の検討状況を伺う。

期日前移動投票所を導入し、昼間は山間部を中心に回り、夕方は放課後の時間等を利用し、市内9つの高校を回るなど、若者世代の投票を促すことにより投票率向上が見込めると考えるが、市の見解を伺う。

答弁 毛塚選挙管理委員会事務局長

他自治体の先進事例を参考に、引き続き検討していく

移動投票所については、平成29年12月議会において、選挙の公平性、二重投票防止システムの確保、費用対効果などを総合的に検討する必要があることをお答えした。移動投票



所の開設には、バリアフリーに配慮した車両の確保、対象地域の選定、有権者を名簿対照するためのシステムの構築など、まだ課題が多い状況であるので、他の自治体の先進事例等を参考に、引き続き検討していく。

加えて、期日前投票所へ足を運んでいただく移動手段については、従来行っているデイサービス利用者向けの期日前投票所への移動支援をさらに促進するとともに、他の移動手段の拡充について検討していく。

また、若い世代の方が投票しやすい環境の整備は非常に重要なことと認識しているが、高校への移動投票所の有用性や設置可能かどうかについて、課題等を洗い出して、併せて検討していく。

●投票率向上の取り組み  
○スポーツ環境の向上  
○有害鳥獣対策



針谷 育造 議員  
創志会

いつ、どこで、誰が、どんな協議で、減免を決めたのか

「固定資産税、使用料免除」の経過が、明らかになっておらず、情報公開請求においても「庁議資料等、事前協議文書はない」との回答であった。文書なしで一連のことが進められたのか不思議であり、「いつ、どこで、誰が、どんな協議」をしたのか明らかにすべきである。

また、文書取扱規定はどのようになっているのか。公文書の在り方および今後市民への説明責任を果たすために、適切な事務執行の確約ができるのか伺う。

答弁 癸生川総合政策部長

令和2年3月の庁議で決定した

平成30年12月3日にサッカー専用スタジアム整備への財政支援を含む7項目の要望書が提出された。

●サッカースタジアム住民訴訟  
○マイナンバー  
○とちぎクリーンプラザの入札

その後、クラブ運営会社とさまざまな協議を重ね、令和元年8月19日に岩舟総合運動公園内へのスタジアム整備に関する要望書の提出があった。

内容を確認したところこれまでの協議を踏まえたものであり、翌8月20日の庁議で市の方針を決定した。方針決定後、地元説明会や議員研究会を行い、令和2年3月10日の庁議で、10年間を上限とする固定資産税の免除を決定した。

なお、公式の会議では会議録を作成し公文書として保管するが、今回は意見交換を中心としたものであり、公文書としては保管していない。

また、文書取扱規定では、文書は市民と市が共有する財産であるとの認識のもと、常に整理保管しなければならぬとされており、手続きや公文書の在り方は、市としての説明責任を果たす上で大切だと認識している。

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



浅野 貴之 議員  
かがやき

子どもは未来の希望である

まちづくりは、人づくりである。教育行政は一朝一夕には結果が出ないからこそ、理想と哲学を持って推進していかねばならない。

未来の希望である子どもたちがまっすぐに瞳を上げ、雨の日でもまっしぐらに学校に行きたくなる環境をつくることは、私たち大人に課せられた使命である。

そこで、市長にはまちづくりのリーダーとして、次期教育大綱および教育計画の策定方針について伺う。

答弁 大川市長

本市教育のさらなる充実を目指す

今後の教育においては、自分のぶるさや住むまちへの誇りと愛着を育みながら、一人一人が個性と能力をいかんなく発揮し、それを互いに

●学校教育の充実を目指して

認め合い、変化する社会をたくましく生き抜いていく力を培うことが大切であると考えている。

また、人づくりはよりよい社会やまちをつくるための基盤であることから、未来への確かな投資として教育予算の確保に努め、本市教育のさらなる充実を目指す。

次期教育大綱および教育計画においては、これまでの本市教育の成果を基盤としながら、「Society 5.0」や「インクルーシブ社会」への対応等、近い将来起こり得るさまざまな社会変化や市民の多様なニーズ等に応えた新たな施策を掲げるとともに、その一つ一つの内容が市民の方々にとって将来への希望となるように策定していく。





**市民にとって利用しやすい料金設定となるよう協議していく**

**答弁** 大川市長

岩舟総合運動公園にあるサッカースタジアムの使用料は1日(8時間)約100万円、栃木市民は特別で72万円である。

栃木県総合運動公園陸上競技場(通称カンセキスタジアムとちぎ)の使用料はアマチュア利用で1日(9時間30分)4万8100円である。

カンセキスタジアムと岩舟のサッカースタジアムは同じ都市公園の運動施設であるが、岩舟のサッカースタジアム使用料金は公の運動施設の使用料として適正と言えるのか、見解を伺う。

**市民が使えないほど高額な使用料の施設が公の施設と言えるのか**



内海まさかず 議員  
創志会

- 治水対策
- 選挙投票事務
- サッカースタジアム使用料金設定
- 栃木市と旧統一教会との関係

サッカースタジアムは、天然芝サッカーフィールドや5千人収容の観客席を備えたJ3の試合に対応できる施設として整備され、大型ビジョンを活用したパブリックビューイングが可能となるなど、これまでの施設とは別個の性能を備えたものとなっている。

それに伴い、維持管理費の増加や、試合後の芝生復旧期間などによる利用日数制限を考慮すれば、民間施設としてはやむを得ない価格設定であると考えられる。

しかしながら、市としては市民にとってより利用しやすい料金設定となるよう協議していく。



栃木県総合運動公園  
陸上競技場

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



**現行のとおり新市において継続していく**

**答弁** 秋間産業振興部長

今後、栃木市は観光農園いわふねに対し、どのように関わりを持つていくのか見解を伺う。

現在の観光農園は地元密着型の農園ではなく、旧岩舟町との合併協議においてどのような協議が行われたのか。また、民営化を行った際に地元団体ではなく、現在の経営者を選定したが、この民営化は旧岩舟町との合併協議の内容に沿っていないのではないか。

**合併により栃木市が観光農園を引き継いだのではない**



市村 隆 議員  
真政クラブ

- 観光農園いわふね
- 生活道路
- 栃木市の将来像

合併により栃木市は旧岩舟町より観光農園いわふねを引き継いだと理解している。

現在の観光農園は地元密着型の農園ではなく、旧岩舟町との合併協議においてどのような協議が行われたのか。また、民営化を行った際に地元団体ではなく、現在の経営者を選定したが、この民営化は旧岩舟町との合併協議の内容に沿っていないのではないか。

今後、栃木市は観光農園いわふねに対し、どのように関わりを持つていくのか見解を伺う。

一方で、地元とも良好な関係が築かれるよう、現在の経営者に強く働きかけを行っていききたい。



観光農園いわふね

**男性トイレにサニタリーボックスの設置はできないか**



小久保 かおる 議員  
公明党議員会

**答弁** 首長保健福祉部長

本市では、国、県のがん対策推進に基づき、アピアランスケアの支援

前立腺がんや膀胱がん等の手術後には頻尿や尿漏れが起きやすくなるといわれている。その他にも、尿漏れパッドを使用する事例が数多く見受けられ、外出の際には自宅まで使用済みの尿漏れパッドを持ち帰らざるを得ないとの声が寄せられる。

また、トランスジェンダーの方も同じ要望が寄せられている。

外出することの不安を取り除き、め細やかな対応策として、男性用トイレへのサニタリーボックス設置について伺う。

○ 市民活動の充実と受け入れ体制  
パートナースhip制度の課題と今後の対応

○ 不登校に対する取り組み、支援

など、がん患者等を支えるための環境づくりに取り組んでいる。

また、トランスジェンダーの方への配慮の観点からも、男性トイレへのサニタリーボックスの設置が望まれるが、現在設置されている市内の施設はほとんどない。

そのため、パッドの交換等をした男性は、多目的トイレの利用や持ち帰りの対応となり、ストレス等を感じている方もいると思われる。

このようなことから、高齢者等が多く利用する保健福祉センターや老人福祉センターから準備ができた順次設置し、他の市有施設へも可能な範囲での設置を進めていく。

さらに、商業施設等でも既に取り組んでいるところもあるが、企業等への普及を促すため、設置についての参考情報をホームページ等で発信していく。

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



**交差点の現状や地元からの要望等を警察に伝え、改善を推進していく**

**答弁** 瀬下生活環境部長

朝の通勤・通学時間帯は、市内のどの地域においても、交通事故の発生リスクが高まる。

大平地域内の県道蛭沼・川連線と市道2094号線が交わる交差点は、県道側に右折レーンがないために、右折車があった場合、必ず渋滞が発生し、先頭の右折車は信号が変わる寸前に走行する。

通学路である当該交差点では、児童・生徒への接触事故が懸念されることから、安全確保を図る意味で右折用矢印信号や時差式信号の導入を求める。

**渋滞緩和による交差点の安全性向上を**



小太刀 孝之 議員  
創政会

- 令和元年台風19号による市内被害状況
- 市内通学路の安全対策
- 心るさと納税

交差点への時差式信号や矢印信号の導入は、自動車の渋滞改善だけでなく、歩行者等の安全確保にも効果があるものと考えられるが、信号機設置などの交通規制全般は、警察の管轄であり、道路交通法や警察庁が示した「信号機設置の指針」等に基づき、公安委員会の許可を得て設置等が行われる。

このため、本市としては、交差点の現状や地元からの要望等について、警察にしっかりと伝えることにより改善を推進していく。

また、交通事故が発生しやすいと思われる交差点等について、現状を確認した上で、「通学路注意」の看板を設置するなど、の対応を引き続き進めていく。



県道蛭沼・川連線と市道2094号線が交わる交差点





福田 裕司 議員  
創政会

競技観戦における  
本市特有の対応状況は

42年ぶりに本県で開催される国民  
体育大会において、本市開催競技は  
6競技となっている。

コロナ感染防止に伴う入場制限に  
ついての規定や有観客となる競技  
名、競技会場など、競技観戦におけ  
る本市の取り組み状況について伺う。  
また、観戦における本市特有の対  
応状況等があれば伺う。

答弁 癸生川総合政策部長

大型モニターを設置や国体  
チャンネルで全試合ライブ  
配信を行う

国体競技については、県が策定し  
た「新型コロナウイルス感染症感染  
防止対策ガイドライン」に基づき、  
大会運営を行う。規定では、観戦者  
数は定員の50%以内に制限されてお

●いちご一会とちぎ国体とちぎ  
大会における本市の対応状況  
○公共施設再編の取り組み

り、一般の方が観覧できる会場を、  
ハンドボール競技のマルワ・アリー  
ナとちぎとボート競技およびカヌー  
競技の渡良瀬遊水地谷中湖の3競技  
3会場とした。

本市独自の対応としては、マルワ・  
アリーナとちぎでは会場内に入場で  
きない方のために、噴水広場に大型  
モニターを設置し、試合を観戦いた  
だく。

また、国体全競技をパソコン等で  
観戦できる「国体チャンネル」では、  
通常は各競技決勝日のみの配信であ  
るが、本市の取り組みとして、本市  
開催競技を予選から決勝まで、全て  
の試合のライブ配信を行う。



広瀬 義明 議員  
自民未来

一般会計からの基準外繰入  
は不公平、経営改善を！

下水道事業は企業会計であり独立  
採算である。だが、本市においては  
長期にわたり10億円を超える一般会  
計からの基準外繰入が計上されてい  
る。これは雨水は公費、汚水は私費  
の大原則を覆すものである。  
下水道未加入の市民の血税を受益  
者負担が前提の会計へと流用するこ  
とは、不公平と言わざるを得ない。  
経営改善と基準外繰入の見直し  
が必要と考えるが見解を伺う。

答弁 小野寺上下水道局長

適正な使用料について、  
上下水道事業調査委員会  
で検討していく

本市の下水道事業については平成  
30年度より地方公営企業法を適用  
し、独立採算制の原則に基づく地方



昨年11月に設置された  
上下水道事業調査委員会

○道路維持管理への市民との連携  
○住民税特別徴収の推進  
●栃木市の公平な上下水道事業

公営企業として健全経営に努めてき  
た。

一方、下水道事業の実施には当初  
から多大な設備投資が必要となる  
ことから、その返済に対する基準外  
繰入金が必要な状況が続いている。

そこで、基準外繰入金金の解消を目  
指すため、令和2年度に「下水道事  
業経営戦略」を策定し、その低減に  
向けた収支の見直しを立てたところ  
である。加えて、下水道事業の経営  
状況や将来の課題を踏まえ、将来に  
わたり持続可能な下水道サービスを  
提供するために必要となる適正な使  
用料について、上下水道事業調査委  
員会へ検討をお願いしたところであ  
る。

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



白石 幹男 議員  
無党派

エアコン購入・設置費用への  
助成制度の導入を！

地球温暖化の影響からか、酷暑の  
夏が続ぎ、熱中症による死亡例も相  
次いでいる。特に高齢者は体温調整  
がうまくできず、室内でも熱中症に  
陥るリスクが高いといわれ、エアコ  
ンは必需品となっている。

新規の生活保護世帯にはエアコン  
購入費の支給が認められており、こ  
うしたことからも、エアコンのない  
高齢者世帯や低所得者世帯に対する  
エアコン購入、設置費用への助成制  
度を導入すべきと考えるが、見解を  
伺う。

答弁 首長保健福祉部長

来年度より導入できるように  
検討していく

熱中症については、8月30日現在、  
本市における救急搬送者数は94名

○物価高騰対策  
○子育て支援  
●高齢者対策

であり、うち65歳以上の高齢者は54  
名と高齢者が占める割合が高くなっ  
ている。

温暖化の進行等により、今後もこ  
の傾向が続くと思われることから、  
本市では庁内連携会議の設置や熱中  
症対策アドバイザー制度の導入な  
ど、包括連携協定等も活用し、市を  
挙げて熱中症対策を推進している。

熱中症の予防対策として、エアコ  
ンの活用は不可欠であることから、  
市としてもエアコンのない低所得者  
高齢者世帯への購入費および設置費  
用の助成制度に関し、来年度より導  
入できるように検討していく。



青木 一男 議員  
自民未来

空き家を防ぐための対策と  
さらなる強化策について

市では空き家を少しでも少なくす  
るため、さまざまな取り組みを行っ  
ている。「空き家等対策懇談会」の  
開催や、今年度から始まった「相続  
財産管理人制度予納金」、「空き家発  
生予防セミナー」などがあげられる  
が、今後の対策と空き家に対するさ  
らなる強化策について伺う。

答弁 大川市長

空き家の発生を抑制する  
ための取り組みを強化し  
ていく

空き家数が減少したのは、空き家  
対策の推進によるものであり、引き  
続き空き家バンクや解体補助の提案  
により、空き家の解消に努めていく。

所有者が不明な空き家については、  
栃木市空き家等対策懇談会において、

●空き家対策

危険な空き家の対応策について意見  
を伺うとともに、財産管理人制度を  
活用し、問題解消を図っていく。

今後進行する高齢社会では、空き  
家になる前に活用方法などを検討  
しておく取り組みも重要であると考え  
、福祉部局と連携した「空き家発  
生予防のための終活セミナー」を7  
月に初めて開催した。今後、年内に  
各地区公民館等で8回の実施を予定  
しており、相続診断士による相談窓  
口を紹介するなど、空き家の発生を  
抑制するための取り組みを強化して  
いく。



市内にある空き家の現状





針谷 正夫 議員  
かがやき

買い物弱者問題をどのように解決していくのか

高齢者を中心に食品等の買い物が困難な状況に置かれている人々があり、国は「買い物弱者」と定義し、社会的課題解決に向け自治体と連携し、支援している。

本市には、ふれあいバスや蔵タク等のほか、民間事業者の宅配事業や買い物代行サービス、移動スーパー等があり、地元住民組織が買い物支援の活動をしているところもあるが、買い物弱者問題をどのように解決していくのか伺う。

答弁 首長保健福祉部長

相談体制の強化を図っていく

本市では既に官民一体となった、多様な買い物弱者対策を実施している。今後は、これらさまざまな既存の

- 「食料品アクセス問題」(いわゆる「買い物難民」「買い物弱者」)
- 県行分収造林事業

サービスを、市民が適切に利用できる仕組みづくりが必要であると考えている。

現在、地域包括支援センターと社会福祉協議会が一体となって、地域内の買い物に関するサービス情報のリスト化を進めているところであり、これらを活用し、市民に周知を図るとともに、それぞれのニーズに適切に対応できるように、相談体制の強化を図っていく。



天谷 浩明 議員  
かがやき

アンケートを基に、よりよい対応を要望する

地権者の高齢化や相続問題など、さまざまな問題はあると思う。何か政策を考え、対応していかないと、中心市街地が空洞化することは目に見えている。

行政が汗をかき、地権者や関係者が理解をして、その問題の解決に向け、相互に努力や協力を惜しまない状況をつくらないと物事は進まない。今後のそれらの対応について伺う。

答弁 宇梶都市建設部長

将来のまちづくりに対する関心が高まるよう取り組んでいく

今後の対応については、安全・安心なまちづくりに加え、空洞化などそれぞれの課題に対応した整備が必要であると考えている。



空き地が目立つ中心市街地

- 危機管理課の事務室の場所
- 道路管理
- 市街地整備

このような中、湊町と富士見町においては、昨年8月に全ての土地所有者を対象に、個別の土地利用や今後のまちづくりについてのアンケートを行い、意向調査を実施した。市としては調査結果を踏まえ、関係者への報告や自治会と連携した勉強会の開催などを通じ、まちの在り方やまちづくりの方向性など、よりよい整備手法の検討を進めるとともに、地域住民とのコミュニケーションを図りながら、将来のまちづくりに対する関心が高まるよう取り組んでいく。

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



小平 啓佑 議員  
自民未来

グローバル教育推進のためALITの増員はできないか

県内でもまれな「グローバル教育推進室」を設立し、実施している本市のグローバル教育の実施体制について伺う。

併せて、各教科のプログラム作成、他校の児童生徒との交流、外国語活動のTT(チームティーチング)およびALIT(外国語指導助手)の活用、増員について伺う。

答弁 名淵教育次長

教育委員会の中でしっかりと議論していきたい

グローバル教育基本計画においては、児童生徒が多面的・多角的な視点から物事を考える機会を充実させるため、各教科等において「グローバル教育プログラム」を作成することとしており、現在、社会科と理科

- 子育て政策
- グローバル教育

の指導資料の素案を作成している。また、友好親善都市である滝川市とのオンラインでの児童生徒会交流活動の実施に向け、現在、実施方法や内容の検討を進めている。

ALITの活用については、令和4年度に小学校14名、中学校6名の計20名のALITを採用し、研修会等を通して指導力向上を図り、TTによる直接体験を重視した学習機会を充実させている。

なお、増員については、教育委員会の中でしっかりと議論していきたい。



森戸 雅孝 議員  
真政クラブ

長引くコロナ禍の影響で、高齢者のフレイルの増加を懸念する

大田原市と国際医療福祉大学が共同で行った介護予防の実態調査によると、コロナ禍の一年間で、「ロバースト」(健康)だった高齢者が約1割減り、逆に心身が衰える「フレイル」が1割増えた要因として、就業や余暇活動、ボランティア活動などに参加する機会が減ったことが背景にあることであった。

高齢者の外出自粛等により、運動不足やコミュニケーション不足が生じ、フレイル状態になることを懸念するが、現状の予防対策について伺う。

答弁 首長保健福祉部長

フレイル予防の普及啓発の推進を図っている

コロナ禍における外出自粛などの影響で、歩くことや身の回りの生活動作が行いにくくなったり、疲れやすくなったりするなど、フレイルの進行が懸念されている。本市では、コロナ禍においても感染対策に努めながら、地域包括支援センターにおいて、運動器機能向上・栄養改善・口腔機能向上・認知症予防等の複合型の介護予防教室を通常どおり開催している。

また、自主活動団体に対して、無理なく継続的に取り組むことのできる高齢者向け筋力運動「あったかちぎ体操」の啓発と普及に努めている。

さらに、外出をためらう方には、自宅で個別にできる介護予防の取り組みを進めるため、本市で制作した「ちぎハート体操」を紹介するとともに、適宜チラシ等によりフレイル予防の普及啓発の推進を図っている。





### モニターインタビュー No.27,28

今回は2名の「議会広報紙モニター」にご登場いただきました。

議会だよりの紙面を充実させるため、アンケートにご協力をいただいている「議会広報紙モニター」にインタビューするコーナーです。

広報委員も新しくなり、モニターさんも新たなメンバーでお送りいたします。



議会広報紙モニター  
毛塚 高章さん

Q：議会だよりを読んで感じたことを教えてください。

A：議会だよりを初めて読みましたが、議員の皆さまの栃木市に対する思いを感じました。

Q：議員にどのようなイメージを持っていますか。

A：議員の皆さまの市に対する思いや政策がよく分かり、さまざまな視点があると思いました。

Q：栃木市に期待することは何ですか。

A：子育ての支援や子どもたちの住みやすい街づくりに期待します。

Q：栃木市の子育て環境はいかがですか。

A：子どもを遊ばせる場所が少ない。特に雨の日は遊べる場所がないので、公園や商業施設の誘致等を頑張ってください。

(インタビュアー：川田委員)

Q：議会だよりを読んだ感想はいかがですか。

A：私は議会だよりにあまり目を通したことがなかったのですが、今回読んでみて栃木市の抱えている問題や現在行われている事業などの情報を知ることができて良かったです。今後は議会だよりを毎号読み、議員さんの仕事にもっと関心を持ちたいです。

Q：議会に対するイメージをお聞かせください。

A：議会や一般質問の様子を拝見したことがなかったので、「市民の要望や意見が反映されているのか、よく分からない。」「力のある議員さんの意見が通りやすく一部の議員さんたちで討論している。」「議員さんは具体的にどんな仕事をしているかよく分からない。」というイメージを持っていました。

Q：栃木市に期待することは何ですか。

A：栃木市に住んでいて良かったと思える、安全で安心して暮らせる魅力ある街づくりを目指してほしいと思います。市議会議員の皆さまには、益々のご活躍を期待しています。

(インタビュアー：青木委員)



議会広報紙モニター  
富山 芳男さん

### ▶新しい委員会が発足しました(議会改革検討委員会・議会報告会運営委員会)

改選後、議長により新たな議会改革検討委員会および議会報告会運営委員会が設置され、それぞれの委員会のメンバーが決まりました。

各委員会において、議会活動をより充実したものとするために取り組んでまいります。

#### ○議会改革検討委員会

議会改革検討委員会は7名の委員で構成され、近年の新しい社会情勢の変化による多様な市民の要望に応え、市政の課題に迅速かつ的確に対応するための議会改革に取り組んでいます。

- ◎福田 裕司 ○浅野 貴之
- 大浦 兼政 古沢ちい子 内海まさかず
- 梅澤 米満 白石 幹男



議会改革検討委員会



議会報告会運営委員会

#### ○議会報告会運営委員会

議会報告会運営委員会は9名の委員で構成され、市民に対して議会の活動状況を報告することで、市民への説明責任を果たすとともに、市民の意見等を市政に反映させるための活動を行っています。

- ◎針谷 正夫 ○小太刀孝之
- 川田 俊介 市村 隆 雨宮 茂樹
- 針谷 育造 氏家 晃 白石 幹男
- 関口孫一郎

◎委員長・○副委員長

### ▶透明性のある議会を目指して(公職選挙法について)

令和4年6月7日付で新聞報道のあった栃木市議会議員選挙での公職選挙法に関連した問題について、市民の信頼を損ねるような行為があったことから、8月1日(月)・2日(火)、正副議長室において、議長が議員2名に対し、反省を促すとともに引き続き真摯に対応するよう口頭で指導を行いました。

また、議会として公職選挙法に対するさらなる理解の醸成を図るため、8月12日(金)には公職選挙法をテーマとした「政治倫理の確立に向けた勉強会」を開催しました。

市政に携わる責任を自覚し、市民の信頼に値する高い倫理観を持つとともに、誠実かつ公正にその職務を果たすため、今後とも、公職選挙法等に関する勉強会を継続的に開催し、資質向上に努めてまいります。





# 議会報告会 今年度も書面や動画等により

# 報告しています

今年度の議会報告会も書面や動画、ラジオなどのさまざまな方法により発信しています。じっくり知りたい方は書面、手軽に知りたい方は動画など、自分のスタイルに合った方法を選択できるようにすることで、より多くの方に議会報告会に触れていただきたいと考えています。今回は報告内容の概要を紹介いたします。

## 新型コロナと原油価格・物価高騰対策への議会からの提言について

詳しい内容は  
こちらから  
アクセス



新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分）※を主として活用し、原油価格・物価高騰の影響を受けている市民や市内事業者に対する支援として、特に重点をおいて取り組むべき事業を議会から市に提案しました。

その提案を受けて、令和4年6月定例会で予算化され、市が新たにに取り組むことにした事業をご紹介します。

議会活動の結果、  
どんな事業が実現  
したんだろう？



※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分）  
コロナ禍において原油価格や物価高騰の影響を受けている地域経済や住民生活を支援し、地方創生を図ることを目的に国から交付されるお金です。

### 議会からの提案

価格高騰の影響を受けながらも、所得超過により国が支給する『子育て世帯生活支援特別給付金』を受けられないひとり親世帯へ支援が必要

### 取り組むことになった事業

▶子育て世帯生活支援特別給付金（拡大給付）  
給付金の対象とならないひとり親世帯に対し、児童1人当たり3万円の給付金を支給



給食材料費や光熱水費が高騰する保育所等の保護者負担を軽減するための支援が必要

▶民間保育所等物価高騰対策補助金  
民間保育所等に対し、対象園児4000人の食材費や光熱水費増加分（1人当たり500円×12か月）を補助

物価高騰による介護施設や障がい者支援施設入所者等の食の質の低下を防ぐとともに、健全な事業運営への支援が必要

▶介護施設等物価高騰対策補助金  
▶障がい者支援施設等物価高騰対策補助金  
1日3食を提供している施設に対し、1人当たり1日40円の食材費を補助

原油価格等高騰により事業活動に大きな影響を受けている市内事業者へ経営の支援が必要

▶原油価格等高騰対策事業者支援補助金  
市内事業者に対し、燃料費と電気料に係る経費の一部を補助（上限30万円）



原油価格・肥料等の物価高騰により農業経営に大きな影響を受けている市内農業者（米生産者）へ支援が必要

▶米生産者経営意欲推進事業負担金  
作付面積に応じて10アール当たり3500円を補助  
▶学校給食地域生産者応援事業費  
地元産の米を使用した米粉パンを学校給食で提供（単価71.46円×提供回数6回×1万2000人分）

## 議会報告動画と議会PR動画を作成しました

- ▶とち介が議員に聴く！動画で議会報告会  
栃木市マスコットキャラクターのとち介が議会報告のポイントをゆる〜く聴いていきます。
- ▶高校生が議会に突撃調査！議会PR動画  
高校生が議会の役割や議会がないときの活動などを議員に聴いていきます。

## 令和3年度決算の審査について

9月定例会において認定を行った「令和3年度決算の審査について」審査の流れをご紹介します。

※質疑内容の主だったものは、2・3ページに記載がありますので参照してください。

### ▶決算特別委員会の設置

9月定例会の開会日に、決算を審査するための決算特別委員会を設置し、全体会を開催しました。

全体会では、正副委員長の互選・決算の概要・主要事務事業報告の説明を受け、各会計の決算の審査を分科会に送付しました。

### ▶4つの分科会

決算特別委員会では、審査する内容が多岐にわたるため、4つの【分科会】に分かれて審査しました。

- ・総務分科会
- ・民生分科会
- ・産業教育分科会
- ・建設分科会



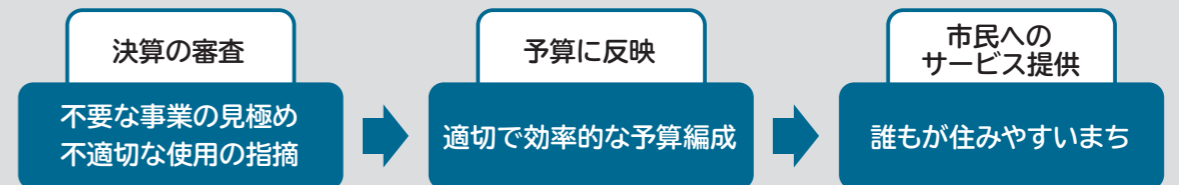
### ▶決算の認定

9月定例会最終日（9月26日）の本会議にて、決算特別委員会委員長が審査結果報告を行い、質疑・討論を経て採決の結果、一般会計のほか、6件の特別会計と2件の企業会計の決算が認定されました。

### ▶議会として

決算の審査を十分に行うことは、不用な事業を見極め、予算が不適切な使われ方をしていないかを確認するだけでなく、現在必要とされる事業に適切かつ効率的に予算を反映させるための重要な責務となっています。

栃木市議会では、市民の皆さまの必要とするサービスが提供され続けるために、決算審査を慎重に行い、費用対効果が適しているかを考慮し、次年度の予算編成につなげてまいります。



### <今年度の意見交換会について>

意見交換会は年ごとにテーマを決め、テーマに関係する方を対象に行うことで、より深い、双方向の意見交換となることを目指します。今年度は若者世代の投票率向上をテーマとし、主権者教育の一環として、市内の高校に通う学生を対象とした意見交換会を開催しています。